

年 組 名前：

大月の山 ボードゲームに

九城さん制作 富士山の眺望PRへ

大月市七保町下和田のゲーム作家九城司さん(48)は、市が選定した「秀麗富嶽十二景」を題材にしたボードゲーム「FUGAKU12」を作った。ゲームを通じて、土景を望む市内の山をPRする。九城さんは「大月の山に足を運ぶ人が増えてくれたらうれしい」と話している。

〈飯野 柁平〉



九城司さんが制作した「FUGAKU12」



赤池 悠、武田 寛明、森 航平(富士北麓) 飯野 柁平(大月・上野原) 森 航平(都留)

「FUGAKU12」は、登山をモチーフにした対戦型のボードゲームで、対象人数は2〜5人。秀麗富嶽十二景に選定された山に登るための「登山カード」をそろえ、各山から見える富士山がデザインされた「富嶽カード」を集めていく内容。富嶽カードには登頂の難易度や大月駅からの距離などに応じて点数が割り振られていて、一定の点数以上を獲得した人が勝ちとなる。今年3月に完成した。2800円。オンラインの通販サイト「BOOTH」で購入できるほか、市ふるさと納税の返礼品への申請もしている。

秀麗富嶽十二景は市が観光PRにつなげようと、岩殿山や百蔵山、奈良倉山など富士山の眺望がよい市内20カ所の山を指定し、1992年に公表した。

九城さんは2022年度、大月市をテーマにしたボードゲーム「デュアルベースタウンGAME―大月版―」を制作。次回作の構想を練る中で、「大月の山に興味を持ってもらう人を増やしたい」と、秀麗富嶽十二景を新たなテーマにすることにした。

(2024年6月19日付 山梨日日新聞 15面)

問1 おおつきし さっか くじょう しゅうれいふがくじゅうけい だいざい
大月市のゲーム作家の九城さんが、「秀麗富嶽十二景」を題材にしたボードゲームを制作した理由を答えてください。

問2 つぎ ぶんしょう あ ことば こた
次の文章の①から⑥に当てはまる言葉を、答えてください。

『ゲームは、①をモチーフにした②のボードゲーム。秀麗富嶽十二景に選定された山に登るための「③カード」をそろえ、各山から見える富士山がデザインされた「④カード」を集めていく内容。④カードには登頂の⑤や⑥からの距離などに応じて点数が割り振られ、一定の点数以上を獲得した人が⑦となる』

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦